

学校づくりアンケート（教職員向け）に寄せられた声の紹介

2019年2月 尾北教職員労働組合

1 道徳の教科化

(評価)

- 5 ●評価の仕方はやはり難しいと思います。
●所見を書くのが多忙につながると思う。
●評価方法に困っています。学校から指定された記述内容を行うと、一人一人に非常に時間がかかったり、苦勞したりするので、共通の固定した定型文があるといいです。
- 10 ●取り組み方に変化はありませんが、評価の仕方が明確でなく、評価を取るなら、しっかりとの方針を出してほしいです。
●評価が難しい。
●通知表と要録の記載を同じでいいようにしてほしい。
●評価の方法がまだはっきりしないので、このまま授業を進めて、年度末にきちんと評価がとれるのか少し不安です。
- 15 ●授業の取り組みは変わらないが、評価についてはとても困る。
●評価しなければと、毎回振り返りを書かせているが、実際に（評価を）どう書いたらよいか分からない。多忙化に拍車がかかっている。
- 20 ●以前よりも力を入れられる先生が多くなったと感じるところもあるが、40人分の感情を理解、把握するのは難しい。所見は、本当に必要なのか疑問に思う。
●そもそも教員が人の道徳性について評価できるような立場かどうかという疑問があります。
●評価されるとなると、正しいことを言わなくてはならないと思う生徒が増え、本来の道徳から外れていく可能性を感じる。また、多忙化解消どころか、評価が増えて負担。
- 25 ●生徒の本心をどこまで引き出せるのか評価をすると心配。
●特別支援学級を受け持っているが、うまく心を表現できない子達なのに評価しなくてはいけないので困っている。低学年も同じでは？
●変化はありませんが、評価（文）の仕方が具体的に出ていないので心配している。
- 30 ●評価の基準を明確にし、評価をしやすいようにしてほしいです。自分の能力では、道徳の評価なのか、生活面のコミュニケーション能力なのか、分からなくなりそうです。
●評価方法はポートフォリオ的に行う必要がある。職員一人一人の研修、技量向上はなによりも大切である。評価による所見はモデルを示していく方向です。
- 35 ●文章による評価はかなり負担である。高学年は、所見、英語、総合、道徳と4つも所見があり、低学年とおおきなちがいがあがる。その差をどうにかしないと「やりたい」と思う人がいないのでは？
●道徳の授業自体は変化させていない。所見での評価は負担だし難しい。振り返りを書かせても表現できない子もいる。
- 40 ●教科書に発問が書かれていて授業はしやすくなった。しかし、所見ありきの授業の確保になっている。
●評価することを前提に授業するので、より計画的に行うようになった。
●文章評価（所見）を書くために、ワークシートや振り返りを子どもに書かせている。

それ自体はいいが、所見を書くためだけに行われたいようにしたい。

(授業内容)

- 5 ●教科化になった以上、やらざるを得ないが、答えありきの授業となる。評価も難しく、教師が行うのも危ない。
- 個人の問題としてのみとらえるのではなく、社会をよくすることや主権者としての意識を高める教材が必要だと思います。
- 教科→科を教える。道徳ってそういうもの？
- 10 ●自分のクラスの実態に合わせて授業を行うということがやりづらく、自由度が減ってしまった。
- 道徳の指導書に入っているCDのワークシートが活用しにくい。
- 道徳の教科化でいじめや自殺が亡くなるとは思わない。馬鹿が総理大臣をやっている国の末路は悲惨です。
- 15 ●指導案の通りにできるとやりやすい。けれど、現場の先生の創意工夫で授業を考えないといけない点が多くあると感じる。評価についても、記述式でどのように実施していくか課題であると考えている。通期で、年度末に1回評価になる予定だと思う。
- 以前までモラルジレンマなど資料を時折変えながら行っていたので、柔軟がきかなくなかった。が、担任によっての差がなくなり、授業の進め方や発問も分かりやすく書かれているのはよい。
- 20 ●週1回の実施について、大きな変化はない。成果の保管に関して、気を使うようになった。
- 道徳に指導書ができ、ワークシートがついている点では助かる。しかし、評価となると向上した面を記載することになると思うが、その判断をどうすればよいのか、30人以上1人ずつに対して行うのは難しいと感じる。
- 25 ●前向きに取り組んでいる。大変だが、やりがいを感じる。
- 計画的に授業をするようになった。教科のような縦のつながりが分かりにくい。
- 道徳の授業について、学年間や他学年と共通の話題で話せるのはよいことだと思います。わが校は順調です。
- 日常的に行うという意識が高まったように思う。

30

(教科書)

- 教科書が使いづらい。資料が長い。
- 教科書の題材の中には「？」とってしまうものも、たまにある。教師用が各担任分あるとありがたい。
- 35 ●「必ず教科書を使わなくてはならない」という圧力を感じ、やりにくい。通知表の道徳の所見欄の記入の記述が分かりにくく、訂正を重ねて結局のところ自分の考え、指導内容から乖離したものになってしまう。
- 検定用教科書の内容が難しく、子どもの実態に合っていないように感じました。考えさせたい場面の答えらしい文面が載っているのが、答えの誘導につながっているように思いました。
- 40 ●教科書があることで道徳の学習に取り組みやすくなった。

2 小学校での英語教科化

(教える不安・専科が必要)

- 担任の負担の増加が増える。苦手な教師が教えるためになるのか疑問。専科の先生が必要だと思います。
- 5 ●学習内容がかなり深まり教材研究などの負担が懸念されます。音楽と同様に専科を配置していくことが望ましいと考えます。
- 英語講師や専科教員を配置して担任任せにしないようにしてほしい。
- 正直できない。わからないものは教えられない。児童には申し訳ない気持ちしかない。専門の先生であったり、1時間の流れであったりを、わかりやすくしてほしい。
- 10 ●専門の教師が指導をするべき。
- NETとの連携により楽しくできてはいるが、単独でやる授業に関しては探り探りである。評価についてもなかなかとりづらく、負担を感じている。
- 専門性の高い専任教員の配置を強く希望。
- 中学校は専科がいるものの小学校ではなかなか難しい。
- 15 ●大学卒業時以来英語に深くは触れていないので主にリーディング、リスニングが不安である。専科教員の配置を望む。
- やはり自分の英語力に不安があるので一人では不安。間違った発音や知識を伝えてしまいそう。
- 取り組んでいるが担任主導がそれほど重要とは感じられない。専門の教員との2人体制の方が安心だし効果が上がるのではないかと思う。
- 20 ●本気で英語力をつけたいと思っているなら小学校でも英語科の教員を中心に授業をできるよう教員を増やすべき。
- 世界の共通語として英語を学ぶ大切さは理解できる。小学校でも英語専科の教員を配置すべき。
- 25 ●中学年でもNETを毎時間つけてほしい。
- 専科の先生がいるのでやっていけますが、担任一人では難しいです。

(英語嫌いを生み出す)

- 英語嫌いになってしまわないか心配です。
- 30 ●望ましいとは思いますが、英語嫌いが増え、格差が一段と広がることもある。
- 次々と単語が出てくるので興味よりも能力差が広がっている気がする。活躍する子は結局英語を習っている子という現状。

(多忙化に拍車)

- 35 ●教員の多忙化につながっていると感じる。専門の教員の配置を願いたい。
- NETの先生との打ち合わせがとれないままTTで授業を行うことが多いです。空き時間を増やして打ち合わせができるようにしてほしいです。
- ALTとの打ち合わせに苦勞しています。ALTの勤務時間の関係で、本来、子どもに使うべき時間や、休み時間を、打ち合わせの時間に毎週のごとく使われていきます。
- 40 ●NETとコミュニケーションをとる時間がない。
- 中学年担当ですがなかなかAETの先生との打ち合わせ時間がとれません。担任とAETの先生の連携等がうまくいっていると子どもたちはわりと楽しんでいるよう

に思いますが。

- ALTとの打ち合わせが大変になっている。ALTの勤務が時給のため行事などが入った場合柔軟な対応ができない。教科担任制の方は、負担は少なくなるのでしょうか。

5

(英語の早期学習に疑問)

- 日本語による思考の安定が完了していない小学生には、教科として教え評価するのではなく総合的な人間形成の幅として提供する程度でよいのでは。
- 本当に英語が小学校から必要なのだろうか。日本語もままならない子どもたちに国語の基礎基本からしっかり学ぶべきではないか。
- 外国語よりも先に、自国の言語活動を、もっとしっかりとやるべきではないかと考える。
- 英語がグローバル社会で大切なことは理解するが、基本的な英語教育ができていない。米国の幼稚園の授業を参考にしてもらいたい。
- 英語よりも国語のアップの方が必要。教科化しなくてよいと思うがやらなければならない。専科の教員の配置を求めます。
- 英語は中学校で学ぶことに意義があると思う。
- 英語は中学校からが適当だと思います。
- 国語の学習もできない段階の児童には意味がない。本当に導入するなら小1から？

10

15

20

(その他)

- 年間道德の倍の72時間って??って思います。
- 学校間の学習状況に差があると(中学入学段階で)のぞましくないと考える。
- 英語の教科は仕方ない。総合→英語の時間にするとよい。
- 不安や負担が大きくて大変。でも、デジタル教科書や子どもたちのやる気で何とかやれている。
- 外国語に親しむよい機会だと思う。
- 教員の英語研修をもっとやってほしい。

25

30

3 全国学力テスト

(中学校の英語調査)

- やらなくてもいい。
- 英語のリスニングやヒアリングができるのか?すべて抽出でよいと思います。
- 難しすぎる。文法や単語ばかり基本をきちんと教えるべし。総合をなくして、英語を週7時間ぐらいにする必要があるのではないか。
- やればよいと思う。小学校の英語活動の効果があるのか検証すればいい。
- 中学校のことは、あまり分かりません。
- 特になし。(関わりがあまりないので分かりません。)

35

40

(全国学力テスト)

- 必要ないと思います。
- 学力テストで調査する学力と学校教育で育む学力がずれている。学力テスト実施が本当に意味があるものか疑問である。

- 毎年の必要性はない。裏で指導力とかの教師の評価にも使われていないか心配である。
- 公の機関に民間のような競争を持ち込まない。それは、医療や福祉も同じである。国が守るべきものだと思う。
- 5 ● 不必要だと思う。
- 中止すべきである。
- なくてよいと思います。
- 学力テストは任意で行うべきである。
- 業者に全面委託してほしいです。
- 10 ● テスト対策を行っている学校に罰則等を与えないといけない。
- 学力テストの結果がフィードバックされているとは思えない。ただただ現場の負担である。(ベネッセとの癒着?)
- 今後の児童生徒の学習に活用していけると望ましいと考える。
- 目的と活用の理由が明確であり、今後の子どもたちのためになるものであることが大事なので…。
- 15 ● テスト内容を学校の問題に近いものにし、練習時間の削減をしたい。
- 実態把握は必要だと考えるので、調査はあっていいと思います。
- 結果をどう使うかはそれぞれ。ただ、今自分が教えている子どもたちがどれくらいか知るの、今後の指導に役立てることができるのでは。

20

4 教職員の多忙化解消

(朝部活の見直し)

- 賛成。多忙化の解消に向けてよい。
- 賛成。朝練は必要ない。
- 25 ● 朝は運動に適していない。
- 当然だと思う。
- 良いと思います。身体に良い影響があるか不明確である。
- 積極的に進めていくべきだと思います。
- 管内全てで朝練中止を!
- 30 ● 部活は社会体育に移行すべし。部活＝生徒指導の時代は終わった。
- 教師の多忙化解消の為には部活動のあり方を見直すことは必須。朝部活は一緒になくすべきもの。
- 見直しはいいが、部活動にやりがいを感じている教員もいることを知ってほしい。
- 朝部活なしは良いと思いますが、朝なしにするなら帰りや休日に十分に部活動を行える時間を確保して頂きたいです。
- 35 ● 練習をやりたい生徒の気持ちが心配。部活へのモチベーションが下がるのでは。希望制がよかった。
- 朝部活はこのままなしでいいと思う。
- 朝部活をする必要はないと思います。(なくてよい)
- 40 ● 中止すべき。
- 見直しがどんどん進むべき。
- 見直しするのはよいと思う。
- 朝部活の見直しをするべき。

●朝部活をやめるなら、県全体で行うべきです。「〇〇市の〇〇学校では、朝練習してますよね？」という保護者からのクレーム？が以前ありました。

●専門の人員を配置すべき。(教員は配置すべきでない)

●賛成ですが、やりたい子もいると思うと複雑です。

5 ●やりたい人がやればいい。

●確かに毎日の朝部活は負担になるが、生徒育成や指導の点ではどうなのか。

●冬は夕練ができないので、朝練をなくすなら、始業時刻を早め、夕練を確保してほしい。

10 ●テニスや卓球など、卓球台やコートが数に限りのある部活は、朝練習などの時間を設定することにより、練習時間を確保できると考える。

(部活動)

●部活動の完全外部化が進めば、中学校は充分楽になると思う。

15 ●小学校はよいが、中学校の部活動は外部委託すべきだと思う。教師は学習指導に専念したい。

●中学校に関しては部活を委託すべき。

●地域行事の参加のための練習時間として部活動がありました。地域の要望と部活の関係って…どうなのでしょう？

20 ●単純に部活動の時間を削るだけでは、部活動運営が苦しくなるだけです。もっと別の方法を考えて頂きたい。

●クラブを担当したい先生、苦にならない先生は、クラブ担当できると望ましいかもしれない。

(学校訪問の見直し)

25 ●学校訪問の指導講評をなくす。

●学校訪問は形式的で、心に響くアドバイスはないので不要。校内の教員どうして学び合う方がメリットが大きい。

●学校訪問は、2年に1度でよいと思います。秋にやって、次年度の春にやって意味があるのでしょうか。県内の他地域では少ないところもあります。

30

(仕事量を減らす)

●仕事の量そのものを減らさなければ、多忙化解消にならないと思います。その改革を思い切って行っていただきたい。

35 ●勤務時間内に仕事が終わらせるように、空き時間がほしい。現在、週 26 時間、空き全くなし。

●在校時間が減っても、家に持ち帰っていれば、何も変わらない。

●クラブ、委員会も含めると週 27 時間。ひどい。

●学校 HP など、どんな仕事を削減できるのか、私たち教員は、まひして分からなくなっている。

40 ●授業以外のことに割く時間が多すぎます。

●他校とも情報を交換できたらいいと思う。

●時間外の電話について、もっと検討すべきではないでしょうか。

●向けているだけで、実際に変化がないので、しっかり上の方たちに考えていただき

たい。

- 英語、プログラミング等々…。どうやって多忙化解消を？

(各種行事や業務の見直し)

- 5 ●学校内の行事見直しや精選への取り組みを、管理職より提起してもらえると実行しやすい。
- 学習発表会を学級（学年）の授業参観程度にするなど思いきった改善が必要。
- 形式的な週案の廃止及び所見の廃止、個人懇談会の充実（そこで所見の内容を話す）
- 学芸会、運動会といった行事を早急に簡素化すること。
- 10 ●行事精選と言いつつ、何もなくならない。
- 行事の精選、休憩時間の明確化、フレックスタイム制の導入&タイムカード導入
- 市役所からの書類が多すぎ、年々細かくなる。（同じような書類を他の人が作っているのを見る。）教師の数が足りない。
- 子どもに関する部分を削るのではなく、書類や提出物、行政とのやりとりを減らしていくべき。
- 15 ●成績処理（所見の回数）や会議や学校のシステムを見直すべきである。
- 通知表、要録の見直し

(教育条件や勤務条件の整備)

- 20 ●勤務時間を管理するのではなく、仕事内容を見直してほしい。人を増やしてほしい。
- 35人以下学級を継続してほしい。
- 人がどんどんやめ、非常勤ばかりでは、負担は重くなる一方です。
- 教育は国の根幹であることを政府は認識すべき。教員の給料が低すぎる。現状の仕事量なら今の倍以上の給料が妥当である。
- 25 ●現場に人と予算をつけることが多忙化解消につながる。それなしで、小手先のプランを作成しても、何年かすればもとにもどってしまうのではないか。
- 変形労働時間制が導入されると、仕事量が増えたり、長時間勤務が固定化されないかと心配です。
- 多忙化解消したいのであれば、仕事量、授業数を減らさなければ根本的な解決にはならない。
- 30 ●国に教員の数を増やしてもらいたい。いくら業務内容を改善しても新しいことが増えて変わらない。
- 行事の精選による多忙化解消には限度がある。もっと大幅な解消に向けて、予算をつけるべきである。
- 35 ●小学校に関しては、教員を増やすべき。
- 国の動向をまちます。

(その他)

- 40 ●管理職が休日に学校に来てタイムカードを押していないので、正確に記録することがいけないのではないかと感じてしまいます。まずは在校時間の正確な記録が必要だと思います。
- 時間外勤務時間が多い。多忙化というとらえ方も少しちがうと思います。大切なこ

とは、働いている本人が多忙と感ずるかどうかと個人的に思います。

- 忙しくなくなれば、心に余裕が出るのでしょうか。
- 意識を教員がもつことが大切だと思う。
- 職員間の差がありすぎる。
- 5 ●学習発表会を5分短くすることは、全く解消につながっていない。
- 一部の先生が多忙化解消のために、他の先生が多忙化が進んでいる。現状を認識していただきたい。不公平である。
- 組合が声を上げることが大事。

10 **5 時間外勤務の割り振り**

(割り振りの現状)

- 割り振りの指示は、ほとんどない。
- 「とってください」と言われても、具体的にどうとったらよいか分からない。「〇〇日以内」とか言われても困る。
- 15 ●校長が自分勝手に割り振りの日をきめてしまうから、ほとんどとれない。時間外勤務をしても、次の日に校長から、「早く勤務を解きます」と勝手に言われて、自分の希望する日を選べない。
- 個人別の割振変更簿があるので、平日でもとりやすい。他の学校でもそうすべき。
- 割振変更簿を設置し、その記入の仕方、とり方について周知徹底してほしい。
- 20 ●仕事が多いので、割り振りはあまりとれていません。
- 忙しいのでとれない。割り振りをする日を考えてほしい。
- とれるが、とりにくい雰囲気がある。若い人に(20代)に「割り振りとったら？」と言ったら、「そんなこと言える身分じゃありませんから」と言われました。これって…?
- 25 ●指示はあるが、実際にとれていないのが現状。
- 長期休業中以外で割り振りで早く帰るよう促されても、結局仕事量は同じなため、他の日にしわ寄せがいくので帰れないか、割り振り日も自主的に残業しているのが実情。
- 説明は何度か受けますが、割り振りを長期休業中にとろうとしても、期間が過ぎていたことが何度かありました。
- 30 ●割り振りはあるが、現実的にはとれない設定である。長期休業中でとりたいと思う。
- 小学校ではとりやすいが、中学校ではほぼ無理である。
- 平日はとりづらい。
- 平日は6時間の授業がある日が多く、とろうと思っても、なかなかとれないと思います。
- 35 ●担任を持っている以上、平日に使えない。使えば、別の先生の負担が増えてしまう。(学級をだれかに任せるのが申し訳ないから)
- 在校時間記録表の提出をすれば、管理職の方は職員がどれだけ時間外勤務をしているか分かるはず。相談して、簡単に割り振りがとれるようになってほしい。
- 40 ●会議の延長や勤務時間外の部活や特練は、自分の仕事での残業ではないので、対応を見直すべきである。
- プール当番や運動会練習の準備などで、何かと早めに来てやるべきことはあるが、実際にはほとんど割り振りとはとれていない現状である。

- 分掌によってかたよりがひどい。通学班担当の早朝勤務はほぼボランティア扱いで、正当な割り振りが無い。
- 年休が20日も使わないので、割り振りがあっても使えない。
- わが校は、会議等が16:55を出ることはまずありません。昼の行事等で休憩がとれなくても、割り振りをいただいています。
- やるならしっかり一律で行ってほしい。市町によってハズレ感がある。

(時間外勤務・勤務時間・年休)

- 在校時間の短縮は求められるが、仕事量は減っていない。
- 時間外勤務ばかりです。成績シーズンはとくに、勤務時間内に終わることはできません。
- 休みたいけど、授業時間を確保するために休めないのが現状。
- 児童が登校するのが7:30～8:10に対して、教員の勤務時間が8:30なのはおかしい。
- 朝8:00から児童は登校し、教師も勤務時間前から実質の勤務となっていておかしい。
- 勤務の特性上、多少あいまいになるのは仕方ないと思うが、その分あいまいでいいので、早く帰れるときは早く帰してほしい。
- 時間外勤務が多い→多忙化、というとらえ方も少し違うと思います。大切なことは、働いている本人が多忙と感ずるかどうかと個人的に思います。
- 割り振りや年休は、とりやすい職場です。
- みんなが早く帰宅できるようになれるといい
- 強制の延長の時間外勤務についてはかなり色々なところから声があがるが、そのわりに、おしゃべりや?で夜遅くまで残っているムジュン…

(休憩時間)

- 昼の休憩は、ほぼないものとなっている。
- 休憩が昼放課に設定されているが、とることは不可能。
- 休憩は全くとれていない。校長も承知しているが、黙っている。おかしい!
- 休憩時間がいまいで、とれていない教員がほとんどなので、退校時間をくり上げてほしい。

6 その他

(駐車料金)

- 職務のために車を使用するのに、駐車料金がかかるのはやめてほしい。
- 一部地区での駐車料金は、これからもいろいろ意見を言い、なくしてもらいたい。
- 江南市と扶桑町だけ駐車料金を徴収されているのは納得できない。
- なんとかなりませんか。
- 駐車料金を支払っている市町があるのは不平等であり、納得できません。

(教員未配置問題)

- 教員採用を増やし、教員未配置問題を解決してほしい。
- 療養される方の補充がなく、校務や教務が代行しており、忙しさに拍車がかかっている。講師の確保が課題だと思う。

(教員免許更新制)

- 2回目の免許更新制が回ってきた。自分で講義を探したり、手続きしたりで、多忙化に拍車をかけています。夏休み等に自治体ごとに研修会を開くことで十分だと思います。
- 5 ● 教員数が足りないと言って、免許を持たない人でも先生ができる、免許失効した教員に特別免許を発行して対応する、というのは教員免許更新制の意味が全くない。ぜひ廃止を。
- 免許更新制の廃止が多忙化解消につながる。
- 免許講習費用は研修費と別になっていますが、納得いきませんね。
- 10 ● 免許更新制の手続きが簡単になるとありがたいです。
- 免許更新制は、はっきり言って意味を感じない。向こうの先生も「書けばたぶん受かるよ」と筆記テストの時に言っていました。時間とお金をちがう部分に使ったほうが…。
- 教員免許更新制を廃止してほしい。
- 15 ● 必要でしょうか。どうやったらなくせるのでしょうか。

(働きやすい職場づくり)

- 何か問題があると、すぐに支援員さんが、そちらのクラスに回され、自分のクラスの子の支援が足りなくなる。もっと、四役の人が現状を知って、積極的にいろいろなクラスの支援に入ってほしい。クラスがぐちゃぐちゃになってからでは遅すぎる。支援員さんに頼るのでなく、教員を増やす、時間数を減らす等、余裕を持てる現状を作してほしい。
- パワハラがある学校がたくさん存在します。校長会などでも注意を呼びかけてほしい。
- 25

(その他)

- 職員は講師が多いため、分掌に偏りがあり、正規教員に重い役がいくつかきているのは困る。
- ICT機器の設置が進んでいますが、それを使いこなすための現職教育が不十分だと感じています。無駄な会議や打ち合わせの時間をそういう有意義な時間にしてほしいです。
- 30